

## NHK番組「歴史秘話ヒストリア」のご案内 裁判はじめて物語～明治の人々はどうしたの？～

NHK番組「歴史秘話ヒストリア」で、初代司法卿・江藤新平による近代司法制度誕生の歴史が放送されました。

番組内で、佐賀県立図書館所蔵の郷土資料が紹介されましたので、ご案内します。紹介された資料は、司法省達第46号（訴訟についての法令）で、これは、地方官が人民の権利を侵害するようなことをしたときに、人民が裁判所に訴えることができるということを記した法令です。

### 【番組で紹介された資料】

〔訴訟についての法令〕

（江藤家資料929-11）

※ 江藤家資料は江藤新平関係の資料群名です。

### 【参考資料】

『NHK歴史発見 15』

（NHK歴史発見取材班／編、角川書店、平成6年発行）

※ 放映された上記資料の〔訴訟についての法令〕が、P171-207に掲載されています。

---

 放送日時 平成21年5月20日（水曜日）22時～22時43分

 放送局 NHK総合テレビ

 番組名 「歴史秘話ヒストリア」 ※「その時歴史は動いた」の後番組

### 番組趣旨

江戸時代は裁判という言葉も無く、御上の裁きが絶対。残虐な拷問、自白の強要、そして罪人となればさらし首、磔も日常化していた。これに異を唱えたのが、明治新政府の初代司法卿・江藤新平だった。江藤は日本に“人権”という概念を広め、たとえ罪を犯そうとも等しく公平に裁かれる必要があるとして、日本に司法制度を取り入れた。人々は戸惑いながらも、この裁判という新しい制度を取り入れ、やがて役人の不正までも声高に叫べるようになる。しかし明治政府の権力争いの中、江藤自身の身も危うくなっていく。番組では、裁判員制度が始まる今、裁判が始まった当初の市井の人々の姿を通して、人が人を裁くということの原点を考える。

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)